

平成26年第7回東大和市教育委員懇談会 会議報告

1 開催日時

平成26年11月7日（金）午後2時から

2 開催場所

会議棟第4会議室

3 出席者

委員：鈴木委員長 武石委員 岩田委員、藤宮委員、真如教育長
事務局：阿部学校教育部長 石井学校教育部参事 小俣社会教育部長
小坂橋統括指導主事、岩本学校教育課長 福嶋庶務係長

4 協議項目

- (1) 東大和市特別支援教育推進計画(案)について
- (2) 11月10日開催の市長との懇談（市長・教育長と市P連との懇談会）について
- (3) 教育委員会制度改正の概要について
- (4) その他

5 会議の要旨

- (1) 東大和市特別支援教育推進計画(案)について

①主な説明

- ・平成25年5月から策定に対しての検討委員会を立ち上げ、7回の会議を開催し、有識者等による内容の確認及び市民意見募集を実施し計画を策定してきた。
- ・計画の目的は、これまで蓄積された具体的な実践を整理するとともに、市が目指している特別支援教育の方向性を体系的に理解・共有することである。
- ・この計画は、学校教育施策の長期的な指針である「東大和市学校教育振興基本計画」の特別支援教育の推進について具体化し、その方向性を示すものである。
- ・特別支援学級(固定制)は、障害の種別ごとの少人数学級で障害のある児童に対し、生徒一人ひとりに応じた教育を実施する。
- ・通級指導学級は、通常の学級に在籍しほとんどの授業は在籍学級で受けながら、支援の必要な状態に応じ、週一日を基本に特別な指導を、特別な教室で実施する。
- ・計画書については、第1部では特別支援教育推進計画の策定にあたって、第2部では特別支援教育の現状、第3部では特別支援教育推進計画の具体的な展開、第4部では参考資料の4部構成である。

②主な内容

- ・この計画書が策定されたことにより、特別支援教育の現状がわかり、また今後の目指す方向性が明確化されたことはとても良かったと思う。
- ・全校に配布し、教職員全員に説明をすることを希望する。
- ・特別支援教育についての理解が深まると思う。

(2) 11月10日開催の市長との懇談【市長・教育長と市P連との懇談】について

①主な説明

- ・11月18日（火）に平成26年度市長・教育長と市P連との懇談が開催される。
- ・市P連からは、教育に関する懇談のテーマが3点示されている。1点目は、通学路の防犯カメラについて、2点目は、少子高齢化における、教育現場と高齢者の関わりについて、3点目は、給食費未回収の対応策についてである。
- ・通学路の防犯カメラについては、27年度から実施する方向で検討している。設置にあたっては、全市的な視点でバランス良く、効果的な設置を検討する中で、不審者情報、学校やPTAの方のご意見を参考に設置場所を選定していくことになると考えている。
- ・教育現場と高齢者とのかかわりについては、小学校では生活科や社会科などで交流が図られ、中学校では職場体験活動において交流が図られ、また、生徒のボランティア活動の一つとして地域にある団地の高齢者宅を訪問する活動を続けている。
- ・給食費未回収の対応策については、児童手当を給食費に充てる制度を導入したり、生活保護受給者の方については福祉事務所から直接納付されるような仕組みを導入している。また、夜間や休日等に未納者宅を訪問するなどの対応も行っている。

②主な内容

- ・高齢者とのかかわりの視点では、子どもたちに対し高齢者ならではの戦争や戦災建造物などについてお話いただき、教えていただくことができる。かかわりを持つきっかけになると思う。

(3) 教育委員会制度改革の概要について

①主な説明

- ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正についての施行日は、平成27年4月1日である。
- ・法律改正のポイントは、1点目は教育委員長と教育長を一本化した〔新〕教育長となること、2点目は教育長への教育委員会のチェック機能の強化と会議の透明化、3点目は「総合教育会議」の設置、4点目は教育に関する「大綱」を首長が策定することである。
- ・制度の改正について、現行制度と改正後の制度の比較をしながら説明した。

②主な内容

- ・総合教育会議は、首長と教育委員の協議・調整の場であり議決の場ではない。
- ・必要に応じて今後も情報提供してほしい。

(4) その他

○教育の日やまについて

- ・小中連携グループごとの発表の中で、良い取組などは他の学校でも活用できるようにすると良い。
- ・成果があった事例などは、他の学校でも取り入れてみるべきである。
- ・発表の内容はとても大事だと感じた。取組が抽象的であったり、魅力がある内容や興味がわく内容がないと聞いている人に伝わらないと感じた。
- ・発表に慣れていないと感じたが、回を重ねることで改善されるものである。作成した先生たちは楽しんで発表していたようである。
- ・他のグループがどんな活動をしているのか知らないようで、今後もっと相互交流を図りたい。
- ・会の最初に二小の子どもたちが歌を歌ったのはとても良かった。
- ・もっと先生方が興味をもってこの会に参加すべきである。
- ・指導室としては、次年度に向けて行事等のピーアール、内容の工夫、取組方法等の研究・検討をする。